

地域版

SASEBO 99 Talk
M Cafe

令和7年度 車座集会 意見交換内容

日時	令和7年7月15日(火)14時から
場所	北地区コミュニティセンター 講堂
テーマ	1. 春日瀬戸越線街路改良工事の影響について 2. バス減便に伴う地域交通の課題について
出席者	地域参加者10名、市議会議員3名、市長ほか関係者4名 合計17名

佐世保市 市民生活部
コミュニティ・協働推進課

令和7年度北地区 意見交換内容(要旨)

テーマ:春日瀬戸越線街路改良工事の影響について

地域参加者

- 春日瀬戸越線の工事の進捗状況と、いつ終わるのか。また、春日第二グラウンドの使用をどれくらいまでできるのか、どの範囲までできるのかを確認したい。
- 家を解体した後、更地になった空き地の草取りをしてもらいたい。
- 家を解体したりするときに、道に白い線を引いているが、薄くなったりしているのでその線についてもお願いしたい。
- 通学路の子どもが通るところだけ草を刈っているが、今後もし草が飛び出してきていたら自分達で草刈りしてもいいということで大丈夫か。
- 家のほんの一部が用地買収に該当して、立ち退いてほしいと言われているが、それだと移動できないとおっしゃっているご家庭がある。そのあたりはどのような状況になっているのかお尋ねしたい。

土木部長

- 用地買収においては、面積の約20%である4500㎡くらいが完了しており、建物等の補償は、59件中24件の約40%が完了している。全体の事業ベースで、大体2割弱が完了している状況。当初は、令和12年度までの完了予定だったが、詳細な工程を県の方で精査しており、代替地検索の遅延と工程の変更によって、2年延びるということで、今のところ14年完了予定と聞き及んでいる。
春日第2公園は、基本的に工事中も使用可能だが、令和9年度から工事に入る予定で、案として公園の一部、最大で半分を利用して用地を確保させていただきたいと考えている。半分の約2000㎡は利用可能ではないか。この案ができたなら、地元の皆様にまたお示しして、どういう形で利用させていただくのが一番いいかという点もお話しして、進めさせていただきたいと思うので、ご理解いただきたい。
県が進めている事業だが、市としても、今後も進捗に関してはサポートさせていただきたい。



令和7年度北地区 意見交換内容(要旨)

テーマ:春日瀬戸越線街路改良工事の影響について

土木部長

- (更地の除草について)用地買収をしているところについては、県の責務において、一番繁茂する8~10月にかけて除草することになっている、ということでご理解賜りたい。ただ工事に着手しないことにはこの問題は解決しないので、その都度お伝えいただければまた対応していく。
- (白線について)市道のところもあるので、現地を早急に見せていただいて、対応させていただければ。
- (草刈りについて)ご協力いただき、ありがとうございます。気になる所があれば可能であるし、ひどい時は我々に言ういただければ即対応する。
- (用地買収について)いろんなケースがあるので、県の方に確認したい。

地域参加者

- 春日町の歩道橋は残すのか。残して階段か何かで調整するのか、拡幅工事の際に取り壊すのか。昨年塗り替えたので壊すのではないと思うが。

土木部長

- 最新の情報を私も貰っていないので、確認する。当初はそこまで撤去するとは聞いてはいなかったなので、改めてご回答する。

市民生活部長

- 県の方に関わる部分もあるので、本日ご発言いただいたいくつかは、県の方に確認後、個別でご連絡させていただければ。



令和7年度北地区 意見交換内容(要旨)

テーマ:春日瀬戸越線街路改良工事の影響について

市長

- この道路の目的については、498号線の朝夕を中心とした渋滞解消だと承知している。地域にとって非常に重要な道路だと認識しているので、土木部長が申し上げたとおり、市としても事業の推進に全面的に協力をしていきたい。

地域参加者

- 道路の拡張の問題。道路の完成予定が2年延びて令和14年になるというが、どんどん人口が減ってきている。用地買収がなかなか進まないのも理解できるが、今後も人口は減っていく。確かに今は渋滞しているが、遅れるというのは人口の関係でどうかというのを考えている。

市長

- 人口減少に対しては、本市のみならず全国各地で起こっている。我々としては子育て・地域資源・文化・産業の4本の柱をもって、対策に取り組んでいこうと考えている。佐世保の魅力を高めて、佐世保に住んでいる人には住み続けたい、市外の皆様方には住んでみたい、訪れてみたいと思っただけのようなまちづくりをしていきたい。公共事業も今、物価高の影響で想定以上に予算がかかったり、建設業の人手不足などいろいろな事情でなかなか予定通りに進まない部分もあろうかと認識している。人口がどんどん減る、一方でハード面を作るには、一定の時間がかかるというようなジレンマに陥っているのも実情だが、いろいろなことを組み合わせながら、ハード面・ソフト面において魅力あるようなまちづくりを、これからも市議会の皆様方のご意見やご指導もいただきながら、一緒になって取り組んでいきたいと考えている。



令和7年度北地区 意見交換内容(要旨)

テーマ:バス減便に伴う地域交通の課題について

地域参加者

- 小さい単位の、桜木団地町内会の高齢者の外出対策についての話。買い物や、通院の際に苦労していて、春日町のバス停や、泉福寺のバス停までの往復を苦しめている。外出しなくなれば、認知症のひとつの原因にもなると言われているひきこもりになってしまう。町内会として何ができるか示唆していただければ、対応していきたい。
町内に70歳以上の高齢者が170名ほどいる。高台に住宅があるため、どのバス停に行くにも帰りが上り坂で大変。そこで考えると、予約制乗合タクシーしかないのではないかと個人的には思っている。高齢者を表に引っ張り出す何らかの方策がないかというのが、ご相談させていただきたい切実な問題。以前、町内の若手も含めて話し合いをしたことがあるが、送迎役を担える人が日中いない、中古車を買うにしても維持費はどうするか、そこで止まってしまった。制約はあるがデマンドタクシーしかないのではと思う。どういう準備が必要か。
また、バスまでの路側帯が車道側に傾斜している。また溝蓋の上が路側帯になっている。非常に足元が危ないので、ご相談をさせてもらう方法がないだろうか。

地域未来共創部 次長

- 県営桜木団地から春日バス停まで、歩いて行かれる方が多いかと思う。地図でルート検索すると、春日町バス停より、桜木町バス停までの方が半分程で済む。大野方面への移動が多いかと思うので、桜木町バス停からバスに乗って春日町バス停で乗り換えることで、歩かずに移動できる例を資料にしてきた。ご参考まで。
地域の皆さんでできる移動の支援について、自家用無償運送という、自家用車で誰でも許認可なしでできる制度がある。運送範囲に制限もなく、謝礼と実費に係る分に関しては受け取れる。個人でだけでなく、地縁団体が組織的に行う輸送サービスがあり、町内会等の団体が会員を設定して会費で経費を賄う取り組みがある。会費で、車両の用意や、運転した人への報酬の支払いができる。
市が取り組んでいる予約制乗合タクシーという、地区自治協議会と協議をしながら一緒に制度を作っていく仕組みがあるが、最寄りのバス路線までという運行エリアに関する制約がある。桜木団



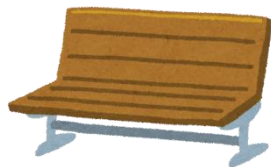
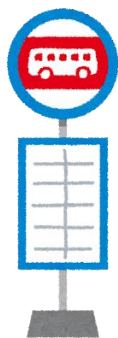
令和7年度北地区 意見交換内容(要旨)

テーマ:バス減便に伴う地域交通の課題について

地域未来共創部 次長

地の町内会エリアからすると、この予約制乗合タクシーの制度を使用しても効果が薄いと思うので、自家用無償運送制度を利用するのが一番早いかと思う。

もうひとつ、要支援認定をお持ちの方を主に対象とした、移動を含めた買い物等の外出支援のサービスもあるので、高齢の生活支援が必要な方を対象として何かするというのであれば、社会福祉協議会のコーディネーターに相談するのもひとつの方法かと思う。



- 予約制乗合タクシーでは、事業者の設定後、運行エリアの設定というふうに、地区自治協議会の皆さんとお話をして制度を作っていく。市内12ヶ所で運行しているが、タクシー事業者も運転士不足等で難しい点もでてきており、地域でも組織が運営できる仕組みを今後作っていかうと、今年度黒島島内で社会実験を行う予定。地区自治協議会全体の中で、互助・共助という取り組みができれば、制度を待つよりもすぐできるかと今回ご紹介した内容となったが、公共ライドシェアという制度ができるようになったときには、また地域の皆さんにもご紹介したい。北地区自治協議会で、全体として予約制乗合タクシーに取り組みたいということであれば、私たちが個別にお伺いして、お話し合いをしていければ。



令和7年度北地区 意見交換内容(要旨)

テーマ:バス減便に伴う地域交通の課題について

市長

- 2002年の道路運送法の改正や、人口減少による利用者の減少と運転士不足があり、事業者も現在の減便・路線廃止を行わなければならなかったという状況。

従って、佐々町と一緒に地域公共交通計画を策定して、今進めている最中である。大野と早岐をひとつの起点として、その区間の運行を効率化することで、周辺の路線へバスをまわしていきたい。松浦鉄道やJRの利用についても、一緒に考えていかなければならないと思うので、そこを公共交通計画の中に盛り込んでいる。

空白地域については、デマンド交通や公共ライドシェアという形で埋めていきたい。北地区におかれては、すでにコミュニティバスを先駆けて導入していただいております。長い間地域の皆様方が一生懸命この交通の維持に努力いただいたことに、改めて感謝申し上げたい。せっかくそういう成功事例があるので、しっかりと他の地域にも生かしながら、これから空白地域を埋めていきたい。公共ライドシェアのやり方も、成功したら横展開していきたいとも思っている。

高齢者の方が大変増えていく中で、door-to-doorで動きたいというニーズが出てきたことも非常に重要だと思う。限界もあろうかと思うが、市民、特に高齢者の皆様方の足を確保していくのは、重要な課題だとも認識している。



令和7年度北地区 意見交換内容(要旨)

テーマ:バス減便に伴う地域交通の課題について

地域参加者

- 自分たちで協力しあって送迎するとか、収益を生まなければOKなどのご案内があったので、例えば、近隣の福祉サービスの事業者さんと話を進めていけたら。車はあるので、もしかしたら運転士さんをどうにかするとか、支払いを地域負担分で賄ってできないかというご相談をすると、帰りの時間帯だけ団地まで送り届けるなど、地域で福祉施設関連等々の団体さんと一緒に協議を進めていければ、改善点があるのかなと思いつつお話を伺った。



地域未来共創部 次長

- 自家用無償運送も、謝礼はいくらまでいいのかとか実は明確でないので、この取り組みをされる地域や団体の皆さんも、運輸支局に確認されたりしている。もし不明な点等、私たちにご協力できることがあれば、そういう運輸支局とのお繋ぎはできるとお話しいただければ。

市長

- 介護施設のお車を利用したらどうかというようなお話もあるし、例えば幼稚園なども同様に朝夕のお迎え以外は車を動かさないという場合もあるので、できればそういう皆様方のご協力もいただきながら、できるだけきめ細かい地域の交通ネットワークをはれるように頑張っていきたい。地域や事業者の皆様方のご理解とご協力が必要になるので、市としても意見交換をしながら、市民の足の維持に努めていきたい。



令和7年度北地区 意見交換内容(要旨)

テーマ:その他

地域参加者

- 横尾町は不便なところに公民館があるので、車が乗り入れできるようにしてもらえないか。
- スクールゾーンの緑色が薄くなっているなので、はっきり塗って欲しい。
- 子どもが登下校時に春日公園を横切っているが、雨だとベチャベチャになって足元が汚れてしまうため遠回りしないといけない。公園の水はけが良くなれば。
- いただいた資料で時刻表を見せてもらったが、来年度は、この時刻の改正や、また減便される意向はあるのか。時刻も減便も、事業者の方が変更すると言ったら変更されるのか。事業者が減便と言った場合、市も県も何も対処できないのか。

土木部長

- 市道を整備するときには市が行う可能性があるが、公民館だけの道となれば厳しい。里道である場合は、里道の補助金を設けている。乗り入れをする道路の勾配などを含めて現地の確認をさせていただき、現場を見せていただければと思う。
- グリーンベルトの色が薄くなって消えかかっているような感じだと思う。場所を確認して対応させていただきたい。

市民生活部長

- 今日とは所管課は来ていないが、後程場所等をご確認させていただくなど、個別になるかなと思う。



令和7年度北地区 意見交換内容(要旨)

テーマ:その他

地域未来共創部 次長

- 絶対見直しされないかという点、お約束はできないが、バス事業者とお話している中では、現時点では来年度以降の減便は予定されていない。そうしないように、運転士の確保対策を事業者と市と協力しながら今やっている状況。
- 当然サービスの低下につながらないように、どういった変更をされるか十分聞いた上で、市も意見を出しながら協議を重ねていくが、事業者が国に届け出て認められれば、我々は止めることはできない。最終的にダイヤを決定されるのはバス事業者になるので、止められない部分はどうしてもある。



令和7年度北地区 意見交換内容(要旨)

